

一般社団法人 川崎建設業協会 一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

協会

ニュース



幸区 川崎駅西口 ラゾーナ川崎プラザ

- 協会長挨拶 (一社)川崎建設業協会 会長 山根 崇
- 寄稿 川崎南労働基準監督署長 黒澤 淳一
- 槌の音 特集「市民の安全・安心を守るために」
防災対策特設作業隊

- 会員の作品
- 古川保育園改築工事 株式会社 喜美代建設
- 東住吉小学校校舎増築その他工事 株式会社 興建
- 多摩川河川敷(中瀬地区ほか)台風19号災害復旧工事 株式会社 KEIHIN
- 中原区内県道主要地方道丸子中山茅ヶ崎舗装補修(切削)工事 岡村建興 株式会社
- 片平1丁目350mm-100mm配水管布設替工事 矢島建設工業 株式会社

目 次

3…… 協会長挨拶 (一社) 川崎建設業協会 会長 山根 崇

■ 安全のページ

4…… 建設業の労働災害防止と働き方改革

川崎南労働基準監督署長 黒澤 淳一

■ 理事会ニュース

6…… 理事会ニュース

8…… 懇談会・説明会・見学会・その他行事

9…… 関係団体の動き

9…… 各方面への協力

10…… 表 彰

10…… 特設作業隊関係

11…… 会員消息

■ 二世会だより

12

■ 槌の音

16…… 特集 「市民の安全・安心を守るために」

防災対策特設作業隊

■ 会員の作品

23…… 古川保育園改築工事
株式会社 喜美代建設

24…… 東住吉小学校校舎増築その他工事
株式会社 興建

25…… 多摩川河川敷（中瀬地区ほか）台風 19 号災害復旧工事
株式会社 KEIHIN

26…… 中原区内県道主要地方道丸子中山茅ヶ崎舗装道補修（切削）工事
岡村建興 株式会社

27…… 片平 1 丁目 350mm - 100mm 配水管布設替工事
矢島建設工業 株式会社

28…… Twitter での配信を始めました

29…… 編集後記



(一社)川崎建設業協会 会長
山根 崇

秋晴の候皆様いかがお過ごしでしょうか。皆様方には日頃から大変お世話になり感謝申し上げます。

世界中にコロナウィルスが蔓延してから約1年半以上が経過致しました。しかし未だにコロナウィルス収束のめどは立っておりません。ワクチン接種が現在のところ唯一の希望であり、対応策であります。残念ながら日本の接種率はまだまだであり、with コロナとして長い期間、共存していくことになるようであります。

感染者の数が増加するに従い、私たち協会員の多くの作業所においてもコロナウィルス感染者が発生しておりました。そうした中で、感染防止、予防策を作業所ごとに徹底して行い、円滑な施工を行うことでインフラ整備等への影響を出さずに出来たと考えております。今後も引き続き感染予防対策の徹底を協会員に働きかけて参りたいと考えております。

さて、令和3年8月の大雨では九州地方や山陽地方において大きな被害が出ております。災害に合われた方々には心よりお見舞い申し上げます。一昨年発生した台風19号の際には川崎建設業協会特設作業隊が出動いたしました。この国においては決して西日本だけの問題ではなく全国的に日々災害の危機にさらされているのが現状であると、認識を新たにするところであります。いつまた災害に見舞われても地域社会の守り手としての的確に対処できるように日々連携を図り、より強固な作業隊として参ります。また協会として行政と連携を密にはかり今後も対応して参りたいと思います。

こうした豪雨災害などが毎年のように発生することは自然環境の変化によるところが大きいと考えられておりま

す。その要因の一つとして二酸化炭素の排出による地球温暖化の影響があるようであります。自然環境を守るためにも二酸化炭素の排出をゼロにする、カーボンニュートラルに対する取り組みが世界的に積極的に推進されておりますが、川崎市においても「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」と表し、事業者、団体に対して協力を求められております。我々川崎建設業協会としてもその趣旨に賛同しておりますが、今後は具体的な取り組みについても考えていかななくてはなりません。協会としてまた協会員企業が二酸化炭素排出をゼロにするために、どのようなことが行えるのかを調査研究し発信していく必要があります。また関連して世界的に取り上げられておりますSDGs(持続可能な開発目標)についても川崎市は積極的に推進を図っております。その実現に向けて協会としての取り組みも考えて参りたいと思います。

またもっとも重要な課題として、建設業は担い手の確保をするためにも働き方改革に積極的に取り組んでいかななくてはなりません。日本全体として働き手の不足が深刻であり、高齢者の定年などを延長することで現状は対処しているのが実情であります。しかしこのままでは徐々に建設業に従事するものが減っていき産業構造そのものが成り立たなくなる可能性すらあります。業界が陥っている負のイメージを払拭し、若者がこの業界で働きたいと思える、女性でも違和感なく働ける、何よりも魅力ある職場環境を構築することが最大の課題であります。国土交通省が推進している新3K(給料が高い、勤務時間の短い、希望ある職場)を実現するためにも協会として積極的に活動していく必要があります。特に建設業は公共工事が主体の会社もあり、環境改善を行うためには入札契約制度の改革は不可欠であり、早期に実現をさせていかなければなりません。また、並行して現在の人材不足を補う意味からもICT技術の導入やDXと言った取り組みについても協会として会員の皆様に情報提供できるようにしていく必要があると考えております。我々建設業を取り巻く環境は日々変化をしております。コロナ禍において蔓延防止に努めながらも課題解決のために対応していかなければならないと考えております。どうか皆様の引き続いてのご協力よろしく申し上げます。

建設業の労働災害防止と働き方改革

川崎南労働基準監督署長 黒澤 淳一

令和3年4月1日付けで川崎南労働基準監督署長に就任しました黒澤と申します。一般社団法人川崎建設業協会及び会員の皆様には、日頃から労働基準行政の推進、特に労働災害防止に御協力いただいていることにつきまして、この場をお借りして御礼申し上げます。

令和3年度の全国安全週間は「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」をスローガンとして開催され、全国労働衛生週間は「向き合おう! こころとからだの健康管理」「うつらめうつさめルールとともに みんなで守る健康職場」をスローガンとして開催されます。スローガンはその年の安全衛生に関する課題を端的に示しているもので、「働く高齢者の増加等の就業構造の変化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化等に対応し、将来を見据えた持続可能な安全管理を継続して実施していく必要がある」「過労死等を防止するためには、働き方改革の推進と相まって、長時間労働による健康障害の防止対策及びメンタルヘルス対策の推進が必要、感染予防対策を徹底し継続することが求められる」を背景としております。

1 労働災害防止について

労働災害は皆様の不断の努力により、長期的には減少しております。しかしながら、全国の令和2年の休業4日以上死傷者数は131,156人（うち新型コロナウイルス感染症関係6,041人）、業務災害での労災保険新規受給者数（令和元年）は605,228人という状況で、近年は増加傾向となっております。

神奈川県労働局管内の令和2年における休業4日以上死傷者数は7,617人と前年に比べ522人増加しました。うち川崎南労働基準監督署管内の休業4日以上死傷者数は525人で約6.9%を占め、前年から11人増えており、こちらも増加傾向となっております。

神奈川県労働局管内の令和2年における休業4日以上死傷者数に占める建設業の割合は7,617人中824人で約10.8%ですが、死亡災害になると37人中14人で約37.8%を占めております。

死傷災害では10.8%なのに死亡災害では37.8%と約3.5倍の比率です。

令和2年の神奈川県労働局管内での建設業の労働災害824人の特徴は、次のとおりです。

- ①企業規模別では、29人以下の会社での災害が約87.7%と多くを占めています。
- ②年齢階層別では、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、各々20%程度を占めていて、世代での差がありません。
- ③経験年数別では10年未満が約55%、10年から20年未満が約18%、20年から30年未満が約13%、30年以上が約13%で、経験10年未満の方が多いですが、10年以上はほぼ同じ率です。
- ④事故の型別では、墜落・転落が約29%、挟まれ巻き込みが約12%、転倒が約11%、飛来落下が約10%で、この4つの型で約62%を占めています。
- ⑤起因物別では、仮設物・建築物・構築物等が約25%、材料が約15%、用具が約14%で、この3つで約54%を占めています。

これをまとめると、建設現場での労働災害を防止するためには、

- ①企業規模が小さい会社に対しては、規模の大きい元請会社等が労働災害防止のための適切な支援・指導を行う。
 - ②経験10年未満の方を重点に安全衛生教育を行い、各自に安全意識を身に付けてもらい、経験10年以上の方もほぼ均等に災害が発生しているため、やはり労働者全員に対して、繰り返し継続した安全衛生教育を行う。
 - ③足場などの高所からの墜落・転落を防止するため適切な足場を設置し、適切な墜落制止器具を使用させる。
 - ④足場などから物が落ちないように整理整頓を行い、幅木を適切に設置する。
 - ⑤機械類や資材に、身体の一部を挟まれない・巻き込まれないように防護をする。
 - ⑥意識して安全通路の確保を行い、段差・滑りやすいところは改善・注意を喚起して転倒災害を予防する。
- これらを日々着実に実施することで、建設現場の労働災害の半分以上に、防止対策として対応できるのではないかと思います。

2 働き方改革について

労働災害防止とともに大事なのが、建設業の労働環境を魅力ある職場に変えていくことです。建設業就業者は55歳以上が約35%（全産業では約30%）、29歳以下が約11%（全産業では約16%）と高齢化が進行しています。平成30年に、働き方改革関連法が成立し、順次施行になっています。そのうち労働基準監督署がかかわるものは、

- ①長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現
- ②雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保、いわゆる同一労働同一賃金への対応
- ③最低賃金の引き上げ、です。

大企業は平成31年度から、中小企業は令和2年度から、時間外労働の上限規制（特別条項を設ける場合にも上限が設けられました。）が適用され、原則月45時間以内、年間360時間以内、つまり月平均30時間以内となっています。建設業は機械化が困難で、人が中心で業務を行う業界のため、他の業種より長時間労働となっております。このため上限規制の適用は令和6年4月からとなっております。客観的な方法で労働時間を把握すること、早めに労働時間対策をお願いします。

年次有給休暇については、事業場の規模に関係なく、年間

10日以上新規に付与した方には、最低5日は取得させなければならない、となりました。年次有給休暇取得については、取得しやすい環境整備だけでなく、労働者に年次有給休暇取得をする意識改革も必要かと思われますので、よろしくをお願いします。

同一企業内において、短時間・有期雇用労働者と正規雇用労働者との不合理な待遇が禁止されました。何が不合理になるかについては、ガイドラインが示されています。雇用形態により処遇の差がある場合は、合理性があるか、説明がつかないかを検討することが必要です。

最低賃金ですが、今年10月1日から神奈川県最低賃金は1040円（現在1012円）に改正することが適当との神奈川県最低賃金審議会答申がありました。

これらの働き方改革の支援につきましては、外部委託で働き方改革推進支援センターを設置しております。相談は電話・メール・企業訪問等選べ、無料で利用ができますので、是非ご利用ください。

経営環境は厳しく、先が見通せない状況が続きます。労働災害防止・働き方改革の推進につきまして、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



理事会ニュース

1月13日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和3年正月太子講祭について

※新型コロナウイルス感染症の拡大による「緊急事態宣言」に伴う(一社)川崎建設業協会の勤務時間について

※2月の執行部会・理事会の休会について

※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた工事及び業務の対応について

財政局契約課長

※緊急事態宣言発出に基づく協力要請について

神奈川県知事

※弔慰について

●理事、建築委員会委員

株式会社ハヤカワ 代表取締役社長 早川 祐樹様

ご尊父 代表取締役会長 早川 文男様(88歳)

令和3年1月2日ご逝去

(神建協・連絡)

特にありません。

3月17日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和3年度主要行事予定(案)について

※川崎市労働問題懇談会委員の推薦について

川崎市

任期 令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

被推薦者 副会長 大島 裕和(令和2年9月～令和3年3月まで現職)

※令和3年4月からの入札契約制度の見直しについて

財政局長

※公共工事設計労務単価等の改定(令和3年3月)に伴う特例措置等の実施について

川崎市長

※会員の退会について

◆(有)濃沼工業 代表取締役 濃沼 実(1月30日付退会)

◆高岸建設工業(株) 代表取締役 高岸 恒久(3月31日付退会)

(会員数 102社→100社)

※弔慰について

●株式会社 大山組 代表取締役

大山 浩司様(49歳) 2月25日ご逝去

●河合土木 株式会社

代表取締役 河合 徳治様(73歳) 3月10日ご逝去

土木委員会委員、二世会会長 河合 一徳様 ご尊父

(神建協・連絡)

特にありません。

4月14日(水)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

※川崎建設会館設備改修工事の施工について

照明設備改修工事(LED化)

見積額:3,044,855円(見積業者:大塚商会)

工事工程:20日程度

※令和2年度予算(3,000,000円)計上

※会員の入会について

◆若井工業(株) 代表取締役 大平 幹也

入会希望日:5月1日

◆(株)石岡組 代表取締役 石岡 勝幸

入会希望日:5月1日

※川崎商工会議所機関誌「かいぎしよ」7・8月合併号、暑中見舞い広告の掲載について

※施工体制台帳の作成等についての改正について

県土整備局建設業課長

※週休2日制確保モデル工事の拡充について

まちづくり局、建設緑政局

※川崎市建設緑政局工事書類作成マニュアルの制定について

建設緑政局技術監理課

※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態措置の終了後における工事及び業務の対応について

財政局契約課長

※入札・契約関係書類の一部における押印の廃止について

財政局契約課長

※特定工事請負契約の作業報酬下限額について

財政局契約課長

※解体工事業の技術者要件に係る経過措置の延長について

財政局契約課長

※顧問弁護士による法律相談日の日程変更について

令和3年6月の第4木曜日(6月24日)は、定時総会と重なるため、翌日の25日(金)に変更します。

令和3年7月の第4木曜日(7月22日)は、祝日と重なり、翌日23日も祝日となっておりますので、前日の21日(水)に変更します。

令和3年9月の第4木曜日(9月23日)は、祝日と重なるため、翌日の24日(金)に変更します。

※「災害時における早期情報収集及び応急対策に関する協定」(道路関連)及び「首都直下地震における東京都内道路啓開(南方向)に関する協定」

の協定締結希望者の公募について

国土交通省横浜国道事務所長

※令和3年度九都県市一斉「自転車マナーアップ強化月間」
の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

※令和3年度仮設物損料その他経費負担協定について

締結日：4月1日（協定内容は3者とも昨年と同じです。）

締結先：（一社）川崎市電設工業会、

（一社）川崎市空調衛生工業会、

川崎市通信設備連絡協議会

（神建協・連絡）

※令和3年度協会表彰式

日 時 5月20日（木） 午前10時15分

場 所 神奈川県建設会館

※令和3年度通常総会

日 時 5月20日（木） 午前11時

場 所 神奈川県建設会館

5月19日（水）午前11時より4階会議室において

（川建協）

※令和3年度（第76回）定時総会の開催について

日 時 令和3年6月24日（木）午後2時

会 場 川崎建設会館 4階講堂

議 題 【議決事項】

①令和2年度事業報告について

②令和2年度収支決算の承認及び公益目的支出計画実
施報告書（案）について

③役員を選任について（欠員理事の補充）

【報告事項】

①令和3年度事業計画及び収支予算について

※日刊建設工業新聞・2021神奈川安全企画特集号への広告
掲載について

※日刊建設通信新聞社・神奈川県内建設業労働災害撲滅
キャンペーン「2021年度全国安全週間」企画特集号への
広告掲載について

※産業廃棄物管理票交付等状況報告の提出について

神奈川県環境農政局資源環境推進課長

※まん延防止等重点措置に係る協力をお願いについて

神奈川県知事

※代表者の変更について

◆株式会社 大山組（4月5日付）

新：代表取締役 生井 賢一

旧：代表取締役 大山 浩司

◆新生建設 株式会社（4月5日付）

新：代表取締役 大山 冬司生

旧：代表取締役 大山 浩司

◆河合土木 株式会社（3月22日付）

新：代表取締役 河合 一徳

旧：代表取締役 河合 徳治

※弔慰について

●岡村建興 株式会社 代表取締役 岡村 清孝様

理事、総務委員会委員長 岡村建興 株式会社 専務取
締役 岡村 大助様

ご母堂 岡村 珠江様（84歳） 4月18日ご逝去

（葬儀は家族葬にて執り行なわれ、ご遺族の意向により、
ご厚志等につきましてはご辞退させていただきたい旨の
申し入れがありました。）

※顧問弁護士による法律相談日の日程変更について

令和3年6月の第4木曜日（6月24日）は、定時総会と重
なるため、翌日の25日（金）に変更します。

（神建協・連絡）

特にありません。

6月9日（水）午前11時より4階会議室において

（川建協）

※委員会の事業報告について

令和2年度入札結果集計表（協会員実績）について

※令和3年度定時総会の開催次第について

※令和2年度定時総会の議案について

※新聞各社への暑中広告掲載費の支出について

※稲毛神社例大祭名入提灯の協賛について

稲毛神社氏子青年会

※事務局職員に対する夏季手当支給について

※事務局夏季休業について

8月10日（火）～13日（金）

※弔慰について

●理事、土木委員会委員

大恵建設㈱ 代表取締役 山田 高士様

ご尊父 山田 廣様（80歳） 5月27日ご逝去

※建築委員会委員の選任について

㈱吉忠工務所 代表取締役 武澤 隆氏（12名⇒13名）

任 期：令和3年7月～令和4年6月

※第80回川崎市制記念多摩川花火大会の中止について

主催者：川崎市長他

※まん延防止等重点措置に係る協力をお願いについて

神奈川県知事

※新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態措置等を実施
すべき期間の延長（令和3年5月28日）に伴う工事及び業
務の対応について

財政局契約課長

(神建協・連絡)

特にありません。

7月15日(木)午前11時より4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

総務委員会：健康診断の実施について

※会員の入会について

◆(株)NITTO 代表取締役 馬場 和彦

入会希望日：8月1日

※9月太子講祭の開催について

9月29日(水) 午後1時15分：自由参拝

午後2時 :太子講祭開会

※健康診断の実施について

(1) 日 時 9月28日(火) 午前9時～午後12時

午後1時～午後4時

場 所 川崎市民プラザ(高津区新作1-19-1)

(2) 日 時 10月27日(水) 午前9時～正午(※午前のみ)

場 所 川崎建設会館

※公職選挙法及び政治資金規正法の規定による特定会社等の寄付禁止制限について

川崎市長

※令和3年度「かわさき市民祭り」の中止について

川崎市長

※令和3年度夏の交通事故防止運動実施について

川崎市交通安全対策協議会

実施期間 7月11日(日)～20日(火)までの10日間

※まん延防止等重点措置に係る協力をお願いについて

神奈川県知事

(神建協・連絡)

○新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態措置の為延期

※第10回建設フォーラムへの参加について

近年激甚化している風水害や地震についてテーマとして、専門家からの講和と災害時においても持続可能な発展(SDGs)を意識することが必要であることから小泉環境大臣からの講和をいただきます。(参加料無料：FAXまたはメールで参加申込み)

日 時 8月23日(月) 午後2時～午後4時20分

場 所 神奈川県立青少年センター紅葉坂ホール

懇談会・説明会・見学会・その他行事

12月9日、健康福祉局長室において、「令和2年年末助け合い運動」への協力金として、山根会長(大島、佐藤副会長同席)より、宮脇健康福祉局長へ20万円を寄託した。

1月7日、正副会長により、福田川崎市長をはじめ、伊藤、藤倉副市長、関係部局長及び関係団体へ新年の挨拶廻りを行った。

2月10日、川崎建設会館において、土木委員会は川崎市造園建設業協同組合と川崎市入札に関する意見交換会を開催し、川崎市造園建設業協同組合から井上理事長はじめ6名、土木委員会から重田委員長をはじめ12名が出席した。

4月14日、正副会長は、令和3年4月1日付川崎市人事異動に伴い、上下水道事業管理者、総務企画局長ほか関係局へ挨拶廻りを行った。

6月3日、川崎建設会館において、(一社)川崎建設業協会 令和2年度事業報告並びに収支決算及び公益目的支出計画実施報告について、篠原、佐藤、庄嶋監事による監査が行われた。

6月11日、第2庁舎6階川崎市議会議長応接室において、正副会長は、本年5月に就任された川崎市議会議長並びに副議長に挨拶を行った。

6月24日、川崎建設会館において、福田川崎市長、草壁川崎商工会議所会頭、松尾(一社)神奈川県建設業協会会長を来賓に迎え、令和3年度定時総会が開催され、決議事項として、第1号議案「令和2年度事業報告」並びに第2号議案「収支決算の承認」及び「公益目的支出計画実施報告書」について審議し、原案どおり承認可決した。その後、第3号議案として「役員の選任」について審議し、欠員理事の補充を原案通り承認可決した。引き続き、報告事項1「令和3年度事業計画」、報告事項2「令和3年度収支予算」を報告した。

7月5日、川崎建設会館において、建築委員会は当面の課題について、まちづくり局と意見交換会を開催し、まちづくり局より、原嶋施設整備部長をはじめ6名が出席した。

【令和4年度への予算要望について】

7月6日、市役所第2庁舎において正副会長、大川原建築委員会委員長、藤原土木委員会副委員長、並びに岡村神中建川崎支部長は、自民党、公明党、みらい、共産党、各川崎市議会議員団と令和4年度への要望(6項目)について、意見交換を行った。

7月7日、藤倉副市長室において、山根会長、大島副会長、重田副会長、佐藤副会長、並びに岡村神中建川崎支部長は藤倉副市長、財政局 対馬資産管理部長、大塚契約課長、川端担当課長と入札制度等について意見交換を行い、令和4年度への予算要望(6項目)について、川崎市長あてに要望書を提出した。

＝要望項目＝

- (1) 補助金対象事業に関する要望について
- (2) PPP・PFIの導入について

- (3) 週休2日制の導入について
- (4) 「週休2日制確保モデル工事」の試行について
- (5) 川崎市と(一社)川崎建設業協会との「仮置場として使用することを目的とする市有地の賃貸借協定の締結について
- (6) 災害発生時または災害発生後の復旧作業等に緊急出動した受注者に対する加点評価(インセンティブ)について

関係団体の動き

12月18日、県建設会館において、第3回みらい委員会が開催され、大川原委員が出席した。

3月1日、神奈川県建設会館において、第2回建築委員会が開催され、村松担当副会長、大島委員が出席した。

3月2日、神奈川県建設会館において、第2回労務・環境委員会が開催され、福島委員長が出席した。

3月3日、神奈川県建設会館において、第2回土木委員会が開催され、重田委員が出席した。

3月4日、神奈川県建設会館において、第2回企画委員会が開催され、佐藤委員が出席した。

3月5日、神奈川県建設会館において、第4回建設みらい委員会が開催され、大川原、吉田委員が出席した。

3月11日、神奈川県建設会館において、県土整備局幹部との意見交換会が開催され、村松副会長が出席した。

3月23日、ホテルメルパルク横浜において、第4回理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長、大島理事、重田理事、佐藤理事、山根監事が出席した。

4月16日、県建設会館において、令和2年度神建協会計監査が開催され、山根監事が出席した。

4月20日、県建設会館において、令和3年度第1回常任理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

4月27日、県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会の令和3年度第1回理事会が開催され、福島理事・川崎支部長、重田理事が出席した。

4月27日、県建設会館において、令和3年度第1回理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長、大島、重田、佐藤理事、山根監事が出席した。

5月12日、川崎建設会館において、神建協及び県土木施工管理技士会と川崎支部の令和3年度意見交換会が開催され、神建協より松尾会長はじめ8名が出席、川建協より、村松常任相談役(川崎支部長)、山根会長、大島副会長、重田副会長・土木委員長、建築委員会各正副委員長、事務局計10名が出席し、県・市発注工事に係る入札・契約及び

施工上の課題等について意見交換を行った。

5月20日、県建設会館において、令和3年度(一社)神奈川県建設業協会表彰が開催され、川崎支部では次の方が受賞した。

- ◆特別功労 佐久間隆文様 (株)喜美代建設
- ◆会員の従業員 一戸 嘉夫様 河崎組建設業(株)
- 並木 真也様 ジェクト(株)
- 峰村 学様 //
- 山田 勝義様 //

5月20日、県建設会館において、令和3年度通常総会が開催され、令和2年度事業報告並びに決算について審議し、いずれも原案どおり可決・承認された。また、報告事項として、令和3年度事業計画及び予算について報告があった。

5月28日、県建設会館において、令和3年度第1回みらい委員会が開催され、大川原、吉田委員が出席した。

6月15日、県建設会館において、第1回常任理事会が開催され、村松副会長(川崎支部長)、福島労務・環境委員長が出席した。

6月16日、県建設会館において、第1回労務・環境委員会が開催され、福島労務・環境委員長が出席した。

6月18日、県建設会館において、第1回土木委員会が開催され、重田委員が出席した。

6月21日、県建設会館において、第1回建築委員会が開催され、村松担当副会長が出席した。

6月22日、県建設会館において、第1回企画委員会が開催され、佐藤委員が出席した。

6月28日、県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会の第1回運営委員会が開催され、藤原委員が出席した。

7月13日、県建設会館において、第4回常任理事会が開催され、村松副会長、福島労務・環境委員長が出席した。

各方面への協力

2月16日、川崎市第3庁舎において、令和2年度第3回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

3月17日、川崎市産業振興会館において、令和2年度第2回川崎市産業振興協議会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

4月12日、川崎日航ホテルにおいて、衆議院議員田中和徳政懇談会が開催され、山根会長が出席した。

5月13日、ホテルKSPにおいて、令和3年度建災防北分会定時総会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

5月20日、フロンティアビルにおいて、建災防神奈川支部川崎南分会の令和3年度通常総会が開催され、山根会長

が来賓として出席した。

6月25日、川崎市コンベンションホールにおいて、第26回かわさき市民放送 定時株主総会が開催され、山根会長が出席した。引き続き、第2回取締役会が開催され、山根取締役が出席した。

6月29日、横浜第2合同庁舎において、第3回神奈川県建設業関係労働時間削減推進協議会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

7月1日、川崎商工会議所において、「川崎市の幹線道路の整備を促進する会」の令和3年度第1回幹事会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

7月2日、川崎商工会議所において、かわさき水ビジネスネットワーク2021年度総会が開催され、山根会長が出席(オンライン形式)した。

7月2日、川崎市産業振興会館において、令和3年度「川崎市木材利用促進フォーラム」総会が開催され、大川原委員が出席(Zoomウェビナー)した。

表彰

(敬称略)

令和2年度優良建築設計者表彰

3月17日、まちづくり局長室において

(株)山根工務店 代表取締役 山根 崇

令和3年度(一社)神奈川県建設業協会表彰

5月20日、県建設会館において

特別功労 佐久間隆文 (株)喜美代建設

会員従業員 河崎組建設業(株) 一戸 嘉夫

ジェクト(株) 並木 真也、峰村 学、山田 勝義

令和3年度(一社)全国建設業協会表彰

6月8日、全建総会において

・25年以上にわたりよく職務に精励し、勤務成績が良好で有る者

(株)大山組 稲吉 文人

(株)織戸組 小高 豊

ジェクト(株)：村椿 正、実原 美尚、遠藤 清春

露木建設(株)：山元 洋介、町田 清志

建設業社会貢献活動推進月間・功労者表彰「赤十字貢献活動」

7月13日、経団連会館において

(株)織戸組 代表取締役 織戸 一郎

令和3年度川崎市商工業従業員永年勤続者表彰

7月14日、川崎市産業振興会館において

(株)大山組 梅田 淳一、加曾利純一

(株)小川組 篠原 剛、小山 和重、小永 八郎、渡邊 智哉

(株)小沼工務店 吉田 伸孝

ジェクト(株) 高野めぐみ、浅水 浩二、佐藤 洋一

(株)重田組 増田真理子、三浦 和成、穂積 勝

重田造園土木(株) 佐藤 晃弘

令和3年度川崎市優良事業者表彰

8月23日、川崎市役所第4庁舎において

土木部門 (株)三秀、(株)KEIHIH

下水管きよ部門 (株)重田組、清生土木(株)

舗装部門 岡村建興(株)、(株)佐藤工務店

建築部門 (株)喜美代建設、(株)興建

水道施設部門 (株)小沼工務店、矢島建設工業(株)、

小沼・幸栄共同企業体

造園部門 (株)KEIHIH

塗装部門 (株)NITTO

若手技術者表彰

土木部門 青柳 文武 (株)三秀)

水道施設部門 石塚 太一 (株)石塚土木)

女性技術者表彰

水道施設部門 堀 倫子 (矢島建設工業(株))

土木部門 出口 香恵 (株)KEIHIH)

水道施設部門 川口 澄子 (株)石塚土木)

下水管きよ部門 藤井 幸穂 (株)小沼工務店)

令和2年度神奈川県土木施工管理技士会「優秀技術者表彰」

(株)織戸組 木村 雄二

※コロナウイルス感染症拡大防止の観点から表彰式は中止となった。

特設作業隊関係

1月15日、多摩区役所道路公園センターにおいて、多摩区役所道路公園センターと多摩作業隊の積雪時における対応についての打合せ会が開催され、市側から多摩区役所道路公園センター青木所長をはじめ5名、多摩作業隊から金光隊長をはじめ5名が出席した。

6月4日、中原区役所道路公園センターにおいて、道路公園センターと中原作業隊との中原区防災・建設研修会が開催され、中原道路公園センターより大野所長をはじめ4名、中原作業隊より重田隊長をはじめ4名が出席し、災害時の応急対応等について意見交換を実施した。

6月16日、川崎建設会館において、防災対策特設作業隊の災害時に係る打合せ会が開催され、山根本部長をはじめ8名の本部員並びに各区特設作業隊の隊長または副隊長9名が出席し、災害時の応急対応等に認識を共有するため、意見交換を実施した。

6月28日、幸区役所において、幸道路公園センターと幸作業隊との災害対応等の意見交換会が開催され、幸道路公園センターより石井所長をはじめ6名、幸作業隊より吉田隊長をはじめ10名が出席し、災害時の応急対応等について意見交換を実施した。

7月7日、多摩区役所道路公園センターにおいて、多摩道路公園センターと多摩作業隊との災害対応等の意見交換会が開催され、多摩道路公園センターより蔵内所長をはじめ3名、多摩作業隊より金光隊長をはじめ4名が出席し、災害時の応急対応等について意見交換を実施した。

岡村建興 株式会社 代表取締役 岡村 清孝様
理事、総務委員会委員長
岡村建興 株式会社 専務取締役 岡村 大助様
ご母堂 岡村 珠江様(84歳) 4月18日ご逝去
理事、土木委員会委員
大恵建設 株式会社 代表取締役 山田 高士様
ご尊父 山田 廣様(80歳) 5月27日ご逝去
相談役
株式会社 喜美代建設 代表取締役 小川 政春様
(88歳)8月4日ご逝去

会員の入会

若井工業(株) 代表取締役 大平 幹也(5月1日)
(株)石岡組 代表取締役 石岡 勝幸(5月1日)
(株)NITTO 代表取締役 馬場 和彦(8月1日)

代表者変更

河合土木(株) 代表取締役 河合 一徳(3月22日付)
(株)大山組 代表取締役 生井 賢一(4月5日付)
新生建設(株) 代表取締役 大山冬司生(4月5日付)

賛助会員の事務局移転

(一社)川崎塗装業協会(6月17日付)
〒210-0012
川崎市川崎区宮前町8-18 井口ビル101

会員の退会

(有)濃沼工業 代表取締役 濃沼 実(1月30日)
高岸建設工業(株) 代表取締役 高岸 恒久(3月31日)

会員消息

弔事

理事、建築委員会委員

株式会社 ハヤカワ 代表取締役社長 早川 祐樹様
ご尊父 代表取締役会長 早川 文男様(88歳)
1月2日ご逝去

株式会社 大山組 代表取締役 大山 浩司様(49歳)
2月25日ご逝去

土木委員会委員、二世会会長

株式会社 河合土木 専務取締役 河合 一徳様
ご尊父 河合土木 株式会社
代表取締役 河合 徳治様(73歳)3月10日ご逝去



二世会 第57代会長 ご挨拶



二世会会長 澤田 貴裕

この度、令和3年5月12日に開催された通常総会において、河合一徳55代、56代会長の後任として、二世会の57代会長に就任いたしました、澤田貴裕です。

昨年の通常総会は、令和2年4月上旬に神奈川県において緊急事態宣言が発令され、5月下旬に解除されましたが、毎年の開催時期と重なり書面決議となりました。

今年に関しましては、1月8日から緊急事態宣言が発令され、3月21日に解除となり、4月20日からはまん延防止等重点措置が発令されましたが、マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスを徹底したうえで開催する事ができました。

昨年度を振り返りますと、5月下旬に緊急事態宣言が解除されましたが、その後も新型コロナウイルスの影響は続き、国内においてのワクチンの普及もされていなかったため、8月初旬の創立56周年記念懇親会が中止となり、9月18日の川崎市建設青年会(3団体)幹事会は開催されましたが、東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定された事や、先行きが不透明であることなどを含め、CSR活動も中止となりました。

また、二世会で毎年実施している、リーダースカップ、忘年会、家族会、視察研修旅行も中止となり、唯一実施できたのは、令和2年9月6日に行われた川崎市市民野球大会だけでした。

二世会は、1964年8月に発会し、本年8月で57周年を迎えました。

発会した年、日本は高度経済成長期のピークで、秋には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、日

本中が活気に満ち溢れている時代でした。

しかし、昨年の夏に開催が予定されていた2度目の東京オリンピック・パラリンピックは、世界中で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期が決定となり、今年に入っても開催できるかどうか緊迫した状況が続いておりましたが、今年の7月23日ようやく開催される事となりました。しかしながら、ワクチンの普及が全国的に浸透していない事と、国内における新型コロナウイルスの感染拡大が第4波の最中での開催であるため、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県の会場は無観客にて開催されることが決まりました。その影響もあり、8月6日に予定されておりました57周年記念会が、昨年の56周年記念会と同様、残念ながら2年連続の中止となりました。

そんな今だに終息のみえないコロナ禍ですが、二世会は57年続いている歴史のある会です。

私が二世会に入会したのは、平成17年7月なので今年度で17年目となり、私も42歳となります。月日が経つのはとても早く感じます。

入会当初は年上の方ばかりで、とても緊張をしていたのを覚えておりますが、この17年間で、たくさんの経験と交流があり、多くの事を諸先輩方から学ぶ事もできました。また、二世会会員は皆会社を背負っている立場であり、悩みや将来の事など、ざっくばらんにお互い意見や相談をかわし、成長できる会だと思えます。

平成から令和にかけての、33年間は、大地震、台風、豪雨と、数々の自然災害に見舞われました。直近の災害では、記録的な豪雨により令和3年7月3日午前10時半頃に、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で、大規模の土砂災害が発生し、多くの方が亡くなられました。今後も様々な自然災害が襲来する事が予測されます。川崎市におきましても、令和元年台風19号の教訓を忘れず、川崎建設業協会、特設作業隊、二世会が一体となって情報を共有し、様々な災害にも早急に対応ができるようにと考えております。

現在、日本は後期高齢者が増え少子化が進む中、建設業におきましては若手の人材不足、二世会におきましても、会員数は最盛期の半分以下にまで減っております。

若手の新規入会者がなかなか増えず、会員の年齢層も40代以上が多くなっている状況です。今後の二世会の活動方針、内容におきましては現在の世の状況を含めて、考えていかなければならない時期と感じております。会員の皆様は元より、諸先輩方や関係者の皆様におかれましても、より一層のご理解とご支援を承りますよう、よろしく願い申し上げます。

令和3年1月5日

第7回 役員会(新年顔合わせ) →中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

令和3年1月

1月例会 新年懇親会 →中止

新型コロナウイルスに係る感染レベルのステージ移行（感染者急増）により、終息が見通せないことや、多人数が集まる会の自粛要請が出されたことも考慮し、やむを得ず中止とした。

令和3年2月

第8回 役員会 →中止

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

令和3年2月13日

第93回 リーダースカップ →中止

1月7日に発出され、1月8日から実施が求められていた「緊急事態宣言」が3月21日まで延長されたこともあり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

令和3年3月12日

第9回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
家族交流会、視察研修会、令和3年度 通常総会等について、協議した。

令和3年4月9日

第10回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
令和3年度 通常総会、市民野球大会の出場等について、協議した。



令和3年4月25日

令和3年度川崎市市民軟式野球大会 中央支部大会Cクラス一回戦

小田球場にて、「チーム二軍」と対戦し、5対4で勝利。

令和3年6月6日

令和3年度川崎市市民軟式野球大会 中央支部大会Cクラス二回戦

小田球場にて、「アルバイツ」と対戦し、8対1で勝利(5回コールド勝ち)。

令和3年7月4日

令和3年度川崎市市民軟式野球大会 中央支部大会Cクラス準々決勝

富士見球場にて、「ハウスサポートナイツ」と対戦、7回裏に追いつかれ、3対3の同点のまま試合終了。選手全員でのクジ引きにより敗退となった。

令和3年5月12日

令和3年度 通常総会

午後6時より、川崎建設会館4階講堂にて開催

出席者 会員23名中19名(うち委任状提出1名)

第1号議案 令和2年度 事業報告について

第2号議案 令和2年度 収支決算報告について

第3号議案 令和3年度 役員選出

令和3年度(第57代)二世会 新役員(全17名)

会 長	澤田 貴裕	(株)澤田組
副会長	柳 浩先	(有)柳商店
副会長	飯島 一貴	(株)KEIHIN
会 計	井上 和俊	ケイ・アイ(株)
幹 事	石塚 太一	(株)石塚土木
幹 事	加藤 大貴	加藤土建(株)
幹 事	河合 一徳	河合土木(株)
幹 事	城田 博章	東生建設(株)
幹 事	高橋 達也	高橋建設興業(株)
幹 事	鳥羽 貴仁	(株)興建
幹 事	福島 章太	大栄建設(株)
幹 事	福本 誠慶	(有)喜有組
幹 事	藤原 秀幸	藤原建設(株)
幹 事	松本 勝明	神明建設(株)
幹 事	矢野 雄樹	(株)トモエコーポレーション
幹 事	吉田 哲也	(株)トビキク
幹 事	渡辺誠一郎	(株)渡辺土木



令和3年6月11日

第1回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
令和3年度 事業計画・収支予算等について、協議した。

令和3年7月2日

川崎市建設青年会 幹事会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
令和3年度のCSR活動等について、他の2団体と協議し、コロナ禍で多くの人数、それも小学校に通う児童を集める活動は感染リスクが高くなり、安全な活動を実施することはできないと判断し、中止とした。

令和3年7月9日

第2回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
創立57周年記念会、川崎市建設青年会 幹事会の報告、今後、地元建設業者の団体としてどのような形で地域貢献ができるか、活動やPRの方法等について、協議した。

令和3年8月

8月例会 創立57周年記念会 →中止

新年懇親会の開催を中止したため、東京オリンピックの開催中になるが、「しゃぶ禅 川崎店」にて開催するべく準備していたが、4月20日以降、国が神奈川県に対して求めていた「まん延防止等重点措置」の実施期間が8月22日まで延長されたことに加え、7月30日には、8月2日から8月31日までの間（後、9月12日まで延長）、「緊急事態宣言」が再発出されたこともあり、様々な予防措置を講じたとしても、先輩方や会員の皆様に出席していただくには難しい状況と判断し、令和2年度に続き本年度も、やむを得ず中止とした。

令和3年8月

第3回 役員会 →中止

新型コロナウイルスの感染者が急増し、「緊急事態宣言」が再発出・延長されたことから、中止とした。



特集 「市民の安全・安心を守るために」

防災対策特設作業隊

「本作業隊は災害対策基本法の規定に基き川崎市の地域に係る災害予防、災害応急対策及び災害復旧の一連の災害対策を総合的、計画的、且つ友好的に行って防災の万全を期する為、川崎市防災会議の要請に依り、防災対策の一翼として設立したものであり本作業隊の特質を生かしてその持てる技術陣と機動力を適切、果敢に投入し、以って公共の福祉の確保に質せんとするものである。

本作業隊員は緊急非常の際に於いて、その指令に基き、直ちに出動し、市民の生命、身体及び財産を災害から保護する為、率先垂範、本作業隊の真価を遺憾なく発揮するものとする。」

以上の文章は、一般社団法人川崎建設業協会（以下、当協会）が組織する、防災対策特設作業隊の「綱領」に記されたものです。改めて目を通すと、この作業隊が、今まさに求められている、市民の安全・安心という目的のための重要な役割を果たすものであることがわかります。これまでも震災被災地からの応援要請を受け、現地に赴き復旧支援活動を行ったり、市域で発生した災害の復旧作業、降雪時の通勤通学路の除雪作業などを行ったりと、数多くの活動実績を有しております。

今回の「槌の音」ではその「防災対策特設作業隊」（以下、当作業隊）の紹介をさせていただきます。是非多くの方々に我々の活動を知っていただき、ご理解いただくと共に、お住まいの地域で活動している姿を目にされた際には、応援していただけたら幸いです。

川崎市全7区を網羅する当作業隊は、当協会の会員各社により構成され、作業人員は総勢437名、作業に使用する車両は240台以上、ユンボなどの重機は120台以上を準備しています。昭和52年4月に川崎市と締結した「災害時における応援に関する

協定」（平成5年7月に廃止され現在の「災害時における応援に関する協定」を締結）に基き、災害時の復旧活動に尽力しております。

近年では、平成28年4月、熊本地震の被災地に出向いての応急復旧支援活動、令和元年10月には台風19号により甚大な被害が発生した中原区・高津区において、市各局と連携して、作業隊が応急復旧作業に従事しました。

地球規模の気候変動により、甚大な被害を生じる自然災害が多発する現在において、平時から川崎市の安心・安全なまちづくりを目指して業務を行っている我々が持つ、社会的使命を果たすべく、万全の備えと体制作りを行って参ります。





川崎作業隊

隊長：石塚 博一(株式会社 石塚土木)

副隊長：佐藤 雅徳(株式会社 佐藤工務店)

副隊長：松本 勝明(神明建設 株式会社)

作業隊会社数：37社 作業隊人員：131名

隊長より一言

この度、川崎作業隊の隊長に就任いたしました石塚です。

長年に渡り、川崎区では田島作業隊と大師作業隊の2班体制で活動を行ってまいりましたが、年々激甚化する災害に備え、よりスムーズに作業隊運営を行っていくことを目的に、令和2年度より2班を合併し、名称を川崎作業隊と改め活動していくこととなりました。

隊長という大役を任せられ、身が引き締まる思いではありますが、地域のために精一杯尽力していきたいと思っております。

作業隊PR

7つの作業隊の中で、川崎作業隊は一番の会社数・人員を有しております。

有事の際にはその力を余すことなく、最大限発揮できるようしっかりと話し合い、準備をすることで、速やかで確実な体制を整えていきます。

今後も定期的に行政との協議や連携を強め、また各隊員との会議や意見交換の場を設けて作業隊の連携の強化に力を注いでいきます。

その他

年々激甚化し、多発する自然災害に対しての我々の取組は、建設業者としての責任であり、誇りでもあると思います。愛する地元を守る姿や活動は、きっと建設業界のイメージアップにも繋がり、将来的には担い手不足解消や若者の入職率増加に繋がって欲しいと願っております。



幸作業隊

隊長：吉田 哲也(株式会社 トビキク)

副隊長：高橋 達也(高橋建設興業 株式会社)

副隊長：福島 章太(大栄建設 株式会社)

作業隊会社数：14社 作業隊人員：65名

隊長より一言

地球規模の気候変動により、年を追うごとに自然災害による被害が大きくなっています。令和元年の台風19号では、幸区内でも21箇所の避難所が開設され、3870人が一時避難しました。多摩川の堤防ギリギリまで迫る濁流を見て恐怖を覚えた方も多かったと思います。深刻な被害が発生した中原区内の復旧活動にも参加し、自然災害の脅威を体感しました。

いざという時に地域住民の安全と安心を守る地元建設業者として、今後も誇りを持って活動して参ります。

作業隊PR

幸作業隊では、「幸区自主防災連絡協議会」「幸区災害対策協議会」「幸区地域包括ケアシステムネットワーク会議」など、幸区長を筆頭にする各会議に、理事又は構成員として参加し、発災時の迅速な対応に向けて協議・検討を行っております。

また、年に二回開催される防災訓練では、専用ブースを設け、作業隊による災害復旧活動のパネル展示と、実際に作業で使用する重機・トラック展示を行っております。

地域住民の皆様へ、我々の活動を広く知っていただくことも大切な活動だと感じております。今後もSNS等を利用した広報活動を行って参ります。



中原作業隊

隊長：重田 洋一(株式会社 重田組)

副隊長：横山 清(株式会社 横山工務店)

副隊長：重田 誠二(重田造園土木 株式会社)

作業隊会社数：14社 作業隊人員：50名

隊長より一言

令和元年台風19号による被害の復旧活動を機に、中原作業隊と中原区役所建設センター(行政)との災害に対する認識が今迄以上に深まり、また高くなったと思います。

今後、台風・直下型地震等、いつ起こりうる災害に備えて、過去の教訓を無駄にせず、日々、的確迅速な対応ができる体制作りを行って参ります。

作業隊PR

中原管内の主要路線地図に、作業隊各社の担当路線を記載した緊急交通路マップを製作し、各社に周知しています。発災時の迅速なパトロール等、いざという時のために体制を整えております。



高津作業隊

隊長：浅川 達也(浅川建設工業 株式会社)

副隊長：月野 宏一(月野建設 株式会社)

庶務班長：佐野 央倫(株式会社 佐野建設)

作業隊会社数：11社 作業隊人員：50名

隊長より一言

山あり川ありの地形にあり、過去にも様々な経験をしてきた高津作業隊です。

今後も川崎市民の皆様が安心して生活できるよう、我々作業隊員一同、一致団結していく所存です。

作業隊PR

年2回の高津地区防災訓練に参加し、作業隊活動の写真やパネル、重機の展示などの活動をしています。

その他

一昨年の台風19号では、高津区役所危機管理室より要請があり、高津区内(久地、諏訪、北見方等)の道路啓開活動を行いました。

汚泥除去ポンプアップ作業等を致しましたが、汚泥置場に限りがあり困難であったため、行政側にも有事の際に使える土地の確保を強く希望します。



平成30年 第39回九都県市合同防災訓練



宮前作業隊

隊長：河合 一徳(河合土木 株式会社)

副隊長：藤原 秀幸(藤原建設 株式会社)

作業隊会社数：9社 作業隊人員：32名

隊長より一言

令和3年3月、隊長職を12年8か月の間務めた父・河合徳治が急逝したため、隊長代理を臨時で務めてきましたが、この度、正式に隊長職を引き継ぐことになりました。

宮前作業隊は、今世紀に入ってから、倒産や廃業、協会からの退会や本店の移転等によって、隊員業者が10社程度減少し、災害発生後の復旧・応援作業を主に担う土木業者も限られているという問題を抱えています。

近年では、大規模な自然災害が毎年のように発生し、熱海市で発生した土石流災害など、予測できない災害に遭遇することも珍しくなくなっています。神中建川崎支部や建設業宮前区会の会員とも連携し、出動要請があれば可能な限り対応して、川崎市や宮前区、地域住民の皆様のために貢献したいと考えています。

作業隊PR

平成24年度以降、「宮前区地域防災連絡会議」及びその部会である「道路・建設・ライフライン部会」に参加し、情報を共有しています。

宮前区役所道路公園センターには、毎年度、「緊急時連絡先一覧表」と、第1次緊急輸送路(尻手黒川線、横浜生田線)及び第2次緊急輸送路(久末鷺沼線、登戸野川線、野川柿生線、他)に係る「災害発生後の自主パトロール担当業者一覧表」を更新して提出するとともに、意見交換しています。

平成30年度以降、年に2回開催されるようになった「宮前区総合防災訓練」に参加し、(一社)川崎建設業協会と特設作業隊のPRに努めています(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、開催が中止されました)。

その他

今後、大規模な災害が発生した際には、各区の特設作業隊が連携しなければ対処できない場面が出てくると思います。情報の伝達と共有に役立つSNS等の連絡体制に参加し、迅速に対応していきたいと考えています。



多摩作業隊

隊長：金光 徳夫(清生土木 有限会社)

副隊長：吉澤 敏行(株式会社 吉孝土建)

副隊長：城田 和明(東生建設 株式会社)

作業隊会社数：13社 作業隊人員：64名

隊長より一言

平成26年6月に前隊長から隊長職を引き継ぎすぐに東生田で土砂崩壊が発生しその土砂撤去、28年9月川崎市防災訓練そして30年1月の大雪のため早朝5時から35名で多摩区内駅周辺・小中学校につながる歩道橋等の除雪作業、熊本地震の応援派遣、7年間多摩作業隊全隊員で災害要請に対応してきました。今後緊急時に、よりスムーズに対応できる体制を構築していきたいと思っています。

作業隊PR

多摩作業隊と区会合同で緊急時の体制表を区役所道路公園センターに提出して災害要請に対応しています。(区会の各会社は作業隊所属会社の協力会社という形をとっています。)それにより隊員数、建設機械数が増えより質の良い災害活動を行えます。また過去2回道路公園センターと作業隊・区会合同で防災訓練(緊急時の集合訓練等)を実施しています。

その他

今後万が一大地震等の大災害が発生した場合、各作業隊の連携が必要になるので、作業隊全体の訓練などを実施しそれを通して全区、隣区との密な協力体制を構築できれば良いと思っています。



麻生作業隊

隊長：根本 研(株式会社 三秀)

副隊長：芝原慎一郎(株式会社 大隅興業)

副隊長：今村 宗玄(株式会社 今村建設)

作業隊会社数：5社 作業隊人員：45名

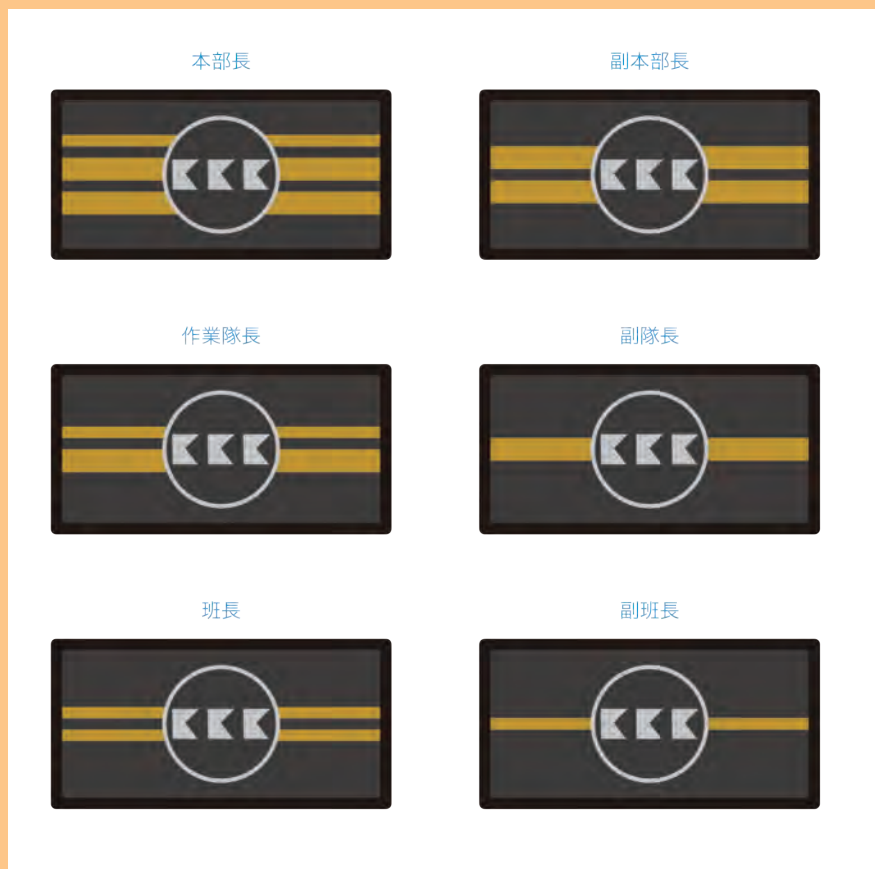
隊長より一言

近年、各地で地震や台風による甚大な被害を受けております。いつ、どこで起きるのかわからないのが災害です。そこで我々作業隊は、川崎市と一致協力をし、地域住民の安全・安心の為に、常に危機意識をもち、取り組んでいきたいと思っております。

作業隊PR

毎年行われている麻生区の防災訓練には、作業隊としても可能な限り参加し、隊員の防災意識を高めるとともに、協力し合える関係を築いていきたいと思っております。
又、地域住民には作業隊の存在を理解していただき、安心で快適な街づくりに貢献できればと考えております。

川崎市全域を網羅する7つの作業隊をご紹介しました。今後の活動や訓練については当協会のSNS(巻末でご紹介しております)で発信して参りますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。また、こうした広報活動と併せて、当作業隊のイメージアップのために、揃いの帽子(アポロキャップ)と階級章を新たに作りました。デザインをご紹介します。



※帽子に刺繍された名称は英語表記で
Disaster Prevention(防災)Special(特設)Work Units(作業隊)

熊本災害応援

- 平成28年4月28日～5月4日(支援隊・第1次)、清生土木㈱、追川建設㈱は、川崎市上下水道局の要請により、熊本地震に係る応急復旧の応援に出動した。要請内容作業員4名、車両等ダンプ2台、ショベル1台、その他作業用資機材
- 平成28年5月2日～5月10日(支援隊・第2次)、河合土木㈱は、川崎市上下水道局の要請により、熊本地震に係る応急復旧の応援に出動した。要請内容支援隊・第1次と同じ



通勤通学路除雪



台風19号復旧

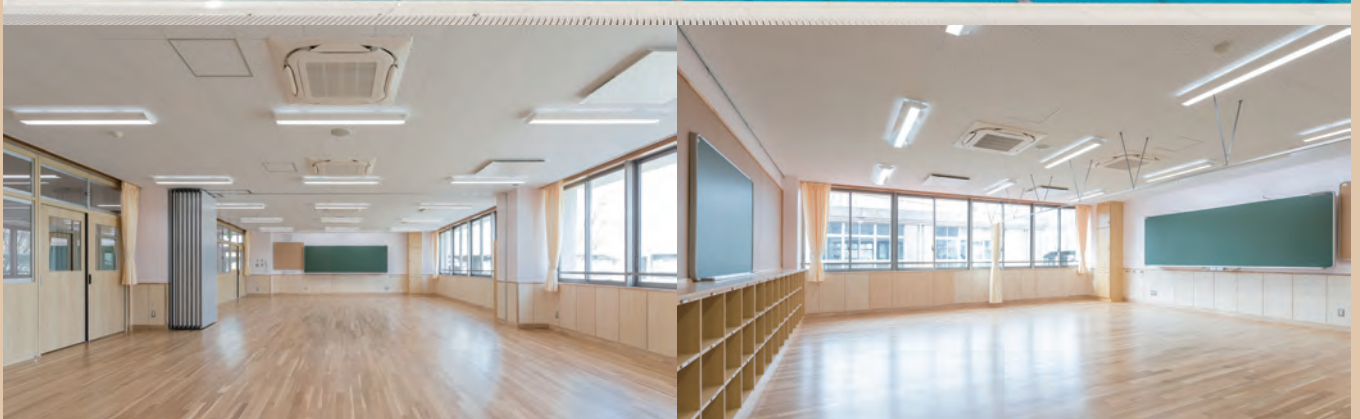
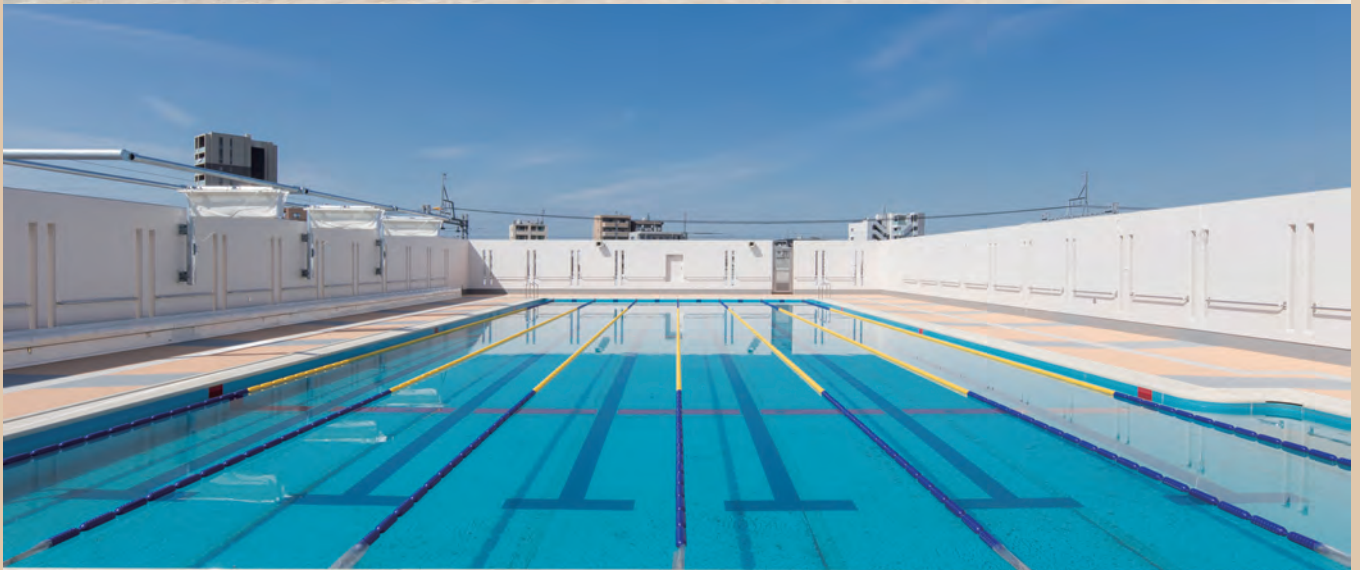
●令和元年10月16日、福田紀彦川崎市長から村松久（一社）川崎建設業協会会長（防災対策特設作業隊本部長）に対し、浸水し路上に運び出された家財道具等の廃棄物を撤去・運搬してほしいとの依頼があり、17日には各作業隊の隊長（副隊長）が協会に招集され、18日から21日までの4日間、中原区及び高津区において、市各局と連携して、各作業隊が応急復旧作業に従事しました。





- 工事名称** 古川保育園改築工事
工事場所 川崎市幸区古川町120番1
工事概要 構造：RC造3階建て（鋼管杭）
 最高高さ：9.90m
 建築面積：545.74㎡
 延べ面積：1,001.03㎡
 施設内容：1階、保育室（3～5歳）、調理室、事務室等2階、保育室（0～2歳）、
 支援スペース・研修室、洗濯室、職員更衣室等3階、トイレ、屋上園庭
 ・屋外附帯
 体育倉庫：建築面積9.28㎡、延べ面積9.28㎡
 バギー置場：建築面積3.15㎡、延べ面積7.35㎡
 遊具、園庭舗装、その他
- 発注者** 川崎市長
工期 令和1年8月20日～令和2年8月26日
施工 株式会社 喜美代建設
 ☆令和3年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者

会員の作品



工事名称 東住吉小学校校舎増築その他工事
建物名称 川崎市立東住吉小学校B棟
工事場所 川崎市中原区木月住吉町1-11
工事概要 延床面積 1,925.49㎡
建築面積 967.50㎡
構造・規模 鉄筋コンクリート造3階建て
発注者 川崎市長
工期 令和元年12月～令和3年2月
設計・監理 株式会社 奥野設計
施工 株式会社 興建
☆令和3年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者

工事名称 多摩川河川敷（中瀬地区ほか）
台風19号災害復旧工事

工事場所 川崎市川崎区中瀬1丁目地内ほか

工事概要 令和元年10月の台風19号で生じた災害に対し、多摩川河川敷の野球場施設及びサッカー場施設の早期復旧を行うことを目的とし、施設利用の皆様の安全で快適な公園利用に供する工事でした。

堆積土砂撤去・処分 $V=2,717\text{m}^3$
 野球場グラウンド整備（外野含む）
 $N=6.0$ 箇所 $A=28,289.0\text{m}^2$
 ピッチャーマウンド・ホームベース等
 $N=4.0$ 箇所
 バックネット $N=2.0$ 基
 サッカー広場整備
 $N=1.0$ 箇所 $A=5,001.0\text{m}^2$
 既設U型側溝清掃ほか $N=1.0$ 式

発注者 川崎市長

監督官庁 川崎市建設緑政局緑政部 多摩川施策推進課

工期 令和2年1月22日～令和2年6月30日

施工 株式会社 KEIHIN
 ☆令和3年度
 川崎市優良事業者表彰 被表彰者



大師河原自由広場



中瀬サッカー広場



中瀬第1球場



工事名称 中原区内県道主要地方道丸子中山茅ヶ崎舗装道補修（切削）工事
工事場所 川崎市中原区下新城3丁目15番地先
工事概要 中原区内舗装道補修事業の一環として実施する切削工事で、在来舗装版はクラックや破損が著しかったため、切削オーバーレイにより、路面の平坦性を回復する工事でした。
 工事延長 L=660m 施工幅員 W=8.0~9.1m
 切削オーバーレイ（夜間施工） A=5,500㎡
発注者 川崎市長
監督官庁 川崎市中原区役所道路公園センター 整備課
工期 令和2年9月2日～令和2年12月10日
施工 岡村建興 株式会社
 ☆令和3年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者



工事名称 片平1丁目350mm-100mm配水管布設替工事
工事場所 自：麻生区片平1-9-25先 至：麻生区片平1-1-8先 ほか1件
工事概要 配水管150mm布設 L=25.9m (ダクタイトル鑄鉄管GX形)、
 ソフトシール仕切弁150mm設置 1.0基
 配水管100mm布設 L=1,582.7m (ダクタイトル鑄鉄管GX形)、
 ソフトシール仕切弁100mm設置 36.0基、
 ソフトシール仕切弁75mm設置 (付替用) 1.0基、
 多排空気弁75mm設置 2.0基、排水弁75mm設置 1.0基、
 単口消火栓75mm設置 13.0箇所、
 空気弁付単口消火栓75mm設置 1.0箇所
 配水管150mm撤去 (ダクタイトル鑄鉄管、鑄鉄管)、
 配水管100mm撤去 (ダクタイトル鑄鉄管、鑄鉄管)、
 配水管75mm撤去 (ダクタイトル鑄鉄管、鑄鉄管)、他

発注者 川崎市上下水道事業管理者
監督官庁 川崎市上下水道局 第3配水工事事務所
工期 令和2年8月20日～令和3年1月25日
施工 矢島建設工業 株式会社
 ☆令和3年度 川崎市優良事業者表彰 被表彰者



 川崎建設業協会では広報活動の一環として、Twitterでの配信を始めました。

建設業に限らず、どの業種においても人手不足が叫ばれて久しいですが、国は外国人労働者を受け入れ、問題を解消していく方向に大きく舵を取りました。建設業ではICTやAIの導入が進み、生産性向上を図るi-Constructionの取組みにおいて、これまで3次元モデルを活用し社会資本の整備、管理を行うCIM(Construction Information Modeling, Management)を導入することで、受発注者双方の業務効率化・高度化が、大手ゼネコンの建設現場を中心に浸透し、業務効率化の側面からも人手不足解決に取り組んでいます。

しかしながら、建設業を支えてきた職人の高齢化や技能の継承の問題は、いよいよ抜き差しならないところまで深刻化しつつあります。上記施策などによって人手不足が解消されたとしても、業界に腰を据えて、前向きに取り組む若者の活躍なしに技術の継承、業界の発展は成し得ません。

職人の質が低下すれば、これまで日本が培ってきた土木、建築技術は廃れていくだけです。諸外国のようなそれなりの値段でそれなりの品質というのは、消耗品の分野では許されるのかもしれませんが、社会基盤であるインフラ整備や維持管理が、それなりの品質でいいのでしょうか？

バブル期に、その労働環境、作業内容が「きつい(Kitsui)」「汚い(Kitanai)」「危険(Kiken)」であることを意味する3K職場などと揶揄されて以来、建設業界全体が社会的責任を果たすために改善を繰り返し、急速に変化していく社会に対応しながら、着実に成長しています。

地域住民の皆さまに、われわれの取組みを知っていただき、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、次世代を担う若者がわれわれの業界に参画するきっかけになればという想いで、SNS上での広報活動を今後も展開していきます。



ラゾーナ川崎プラザとその周辺施設

JR 川崎駅の西口駅前には、2000年に閉鎖されるまで東芝川崎事業所(東芝堀川町工場)が立地していました。商業施設が多く立地する東口に対して、西口を利用するのは、東芝関係者と周辺住民、路線バスの利用客などごく一部だけでした。

1990年代以降、明治製菓跡地に「ソリッドスクエア」が竣工、川崎市主導のバスターミナル整備やシンフォニーホールを有する「ミュージア川崎」の開設に続き、再開発事業の中核商業施設として「ラゾーナ川崎プラザ」が2006年に開業しました。駅直結という利便性と、東口の既存施設に劣らない大規模商業施設が誕生したことで、人の流れが大きく変わり、「東京と横浜の通過点」というイメージが強かった川崎に人を呼ぶきっかけとなりました。

その後、2013年に「ラゾーナ川崎東芝ビル」が完成、2020年には「ホテルメトロポリタン川崎」、今年5月には商業施設とオフィスからなるJR川崎タワー「川崎デルタ」が開業し、川崎駅西口は衣食住からエンターテインメントまで楽しめる多彩な街へと進化を続けています。



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

先ずは、協会ニュース 2021年9月号発刊に当たり、お忙しい中ご協力頂いた関係各位に感謝申し上げます。また、日本各地で豪雨による災害で被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、一昨年前から続く新型コロナウイルスの終息が見えない中、1年延期になっていたTOKYO2020オリンピック・パラリンピックが無観客で開催され、連日出場選手の活躍が報じられています。しかし、日本特有の湿気を伴う猛暑に苦しめられ、競技開始時間を変更するといった事態も起きていますが、猛暑に苦しみながらも頑張っている選手の姿には本当に頭が下がります。今更ながら、マラソンが北海道になって良かったかもしれないですね。

一方その他国内では、変異株による第5波が大流行し、感染者数が1万人を超える事態になり、医療崩壊が現実になりつつあります。今コロナに罹患すると、重傷者以外は適正な医療を受けられないといった事態にまでなっています。今まで以上に注意しなければならない状態ですが、世の中の認識は、コロナ疲れと慣れにより、危機意識が低下してしまっていると思います。この様な状態で、今後の最悪の事態を想像すると、本当に怖い事だと思います。ワクチンの普及が進み、治療薬が開発されるまでは、まだまだ当分の間は自粛が必要な時だだと思います。皆様十分注意しましょう。

先日の熱海市の豪雨に伴う土砂災害に見られるように、気候変動による豪雨災害が続く事が予想され、毎年想像を絶するような事が起きるのではないかと懸念されます。今後は「想定外を想定」し、多分大丈夫だろうと油断せず、常に最悪な事態を予測・予防し、想像力を最大限に働かせ、万全の準備をする必要があるように思います。これからは、「過剰な対策」が必然となるのでしょうか。

昨今、建設業は今までのやり方や慣習では通用しなくなって来ています。新型コロナウイルスの影響で生活様式も一変し、対面会議からWeb会議が導入され、今では一般的になって来ました。今後、建設業のICT、IoT技術も飛躍的に進歩すると共に、その技術の利用と環境に配慮した施工が、今後生き残って行く為の必須事項になって来ています。当協会では、これを踏まえ、SDGsや建設キャリアアップシステム等に積極的に取り組み、この活動をTwitterや協会ホームページで外部に発信しながら、今後も時代に即した取り組みを推進してまいります。これからも一致団結し、建設業の発展の為にお互い協力していきましょう！ご安全に！

一般社団法人 川崎建設業協会
川崎市川崎区宮本町7番地5

一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部
電話 044-244-5156(代)

FAX 044-211-2420

発行所……………一般社団法人 川崎建設業協会

川崎市川崎区宮本町7番地5

電話 044-244-5156(代) FAX 044-211-2420

発行責任者……………山根 崇

編集者……………一般社団法人 川崎建設業協会 企画委員会